



長野県議会議員 上伊那選挙区選出 1期目

清水まさやす 県議会だより

ブログ [まさやす日記](#) [検索](#)

facebook.com/masayasu.shimizu

(日頃の活動はブログをご覧ください!) s.m@eagle.ocn.ne.jp



- あいさつ
- 新型コロナウイルス感染症について
- 令和4年2月臨時会について
- その他の活動について
- 次回定例会の日程 (予定)
- あとがき

ご挨拶

日頃から清水まさやすの活動に対し、ご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

今号は、2月定例会(2月16日~3月16日)など、上記 Contents(目次)の内容を報告します。原稿完成から発行までに日数がかかります(最終原稿 4月

20日)ので、機を逸した内容もあるかもしれませんがご容赦ください。(前号は 1 月14日の臨時会後の原稿完成でしたが、1週間後に専決処分や県のワクチン接種の方針が変わるなど、状況が大きく変わり機を逸した内容もありました。心からお詫び申し

上げます)。引き続き少しでも有意義な情報提供を心がけますが、最新情報は県のホームページなどでご確認ください!
<https://www.pref.nagano.lg.jp>



● 新型コロナウイルス感染症について

この活動報告の発行日(5月1日)の状況は計りかねますが、新型コロナでお困りのことがありましたら、[毎回載せているこちらをご利用ください。](#)

新型コロナウイルス感染症対策総合サイト



県の情報は[こちら](#)

相談窓口一覧

[困ったときの相談先一覧] 症状の相談、差別や不安、企業や農業などの相談先など



お困りごと相談センターは、「どこに相談したら良いかわからない!?!」という方の疑問にお答えするセンターです。026-235-7077 へお電話ください。



「よくあるご質問」は[こちら](#)をご覧ください!

※清水まさやすの事務所でもご相談を受けます。

変更になった点

県ではオミクロン株の特徴を踏まえ、3月29日以降、同居者、ハイリスク施設や学校・幼稚園などの施設を除いて、保健所における濃厚接触者の調査や特定を行わないようになりました。

また、濃厚接触者の待機期間は、原則7日間(8日目解除)ですが、4日目、5日目の抗原定性検査キットで陰性確認後、5日目から解除を可能(7日間は、検温など自身による健康状態の確認等を求める。)となりました。

基本目標「救える命が救えなくなる事態を回避する」

対策の重点「重症化リスクの高い方を守ること」

基準が改正されました

医療アラートの発出基準

	医療提供体制への負荷の状態	確保病床使用率	対策の考え方
(国レベル1相当)			通常体制
医療警報 (国レベル2相当)	負荷が拡大している状態	25%以上	社会経済活動の維持を前提とし、できる限りの感染防止対策を講じる
医療特別警報 (国レベル3相当)	今後ひっ迫が見込まれる状態	35%以上	感染拡大が顕著である地域(市町村単位又は圏域単位)では社会経済活動を抑制して感染防止に取り組む
医療非常事態宣言 (国レベル4相当)	ひっ迫が懸念される状態	50%以上	全県で社会経済活動を抑制して感染防止に取り組む

※アラートの発出については、病床使用率だけではなく、様々な指標で総合的に判断します

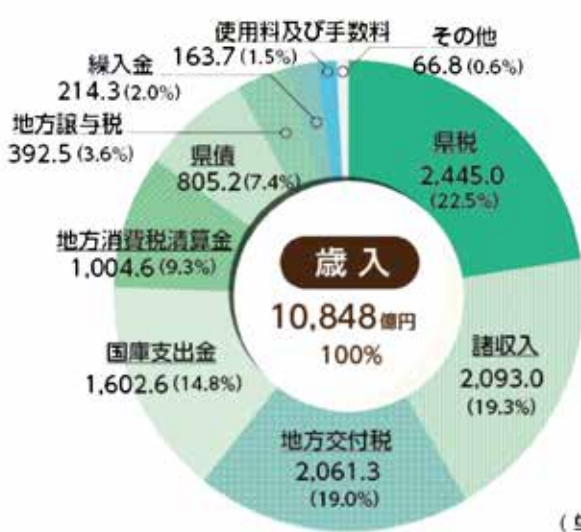
上伊那の感染警戒レベルの引き上げ基準

レベル	アラート	直近1週間の新規陽性者数
1	なし	-
2	注意報	27人以上(10万人当たり15人以上)
3	警報	54人以上(" 30人以上)
4	特別警報I	108人以上(" 60人以上)
5	特別警報II	162人以上(" 90人以上)
6	まん延防止や緊急事態宣言	

※レベルの引き上げについては、新規陽性者数だけではなく、発生事例の分析によって総合的に判断します

● 県議会2月定例会について

過去最大 **1兆848億9,672万4千円** (前年度+425億6,604億9千円)の次年度予算が決定



歳出の性質別は	(単位: 億円)	
人件費	22.7%	2464.3
投資的経費	14.2%	1535.0
公債費	11.1%	1208.7
扶助費	1.5%	162.5
その他行政費	50.5%	5478.5

● コロナ対応分 2,192 億円

● 社会資本の整備 1,535 億円

● 社会保障関係費 1,073 億円



また、前号でご説明した通り、令和4年度の予算は1月補正予算(885億5,932万5千円)と一体的に編成しており、**重点テーマ別**に合計すると下のようになります。(詳細は左のQRコードより)

重点テーマ別	内容	金額 (億円)
	新型コロナから県民の命を守り、暮らしと産業を支える	2752 億 4310 万円
	災害に強い県づくり	1520 億 9926 万円
	産業・暮らしのコロナ禍からの復興	106 億 5765 万円
	脱炭素社会の構築	474 億 3912 万円
	誰一人取り残さない公正な社会づくり	72 億 4485 万円
	誰もが主体的に学び続けられる社会づくり	1650 億 235 万円



今定例会で伊那弥生ヶ丘高校と伊那北高校の統合案について、県議会は**同意**しました。これまで伊那新校再編実施計画懇話会がまとめてきた募集年度、校地校舎、設置学科、募集学級数、新校の学校像などを踏まえ、県は、具体的な再編・整備に向けて動き出します。

2月定例会の全体的な内容は4月24日(日)の朝刊に折り込まれた「長野県議会広報 第154号」もしくは右のQRコードより議会 web サイトをご覧ください



コロナの影響で…

2月定例会は、次年度の予算を決める議会ということで予算議会と呼ばれます。この予算が決まらなると次年度の予算・事業が執行できません。そんな中、県議会議員57名中10名が新型コロナウイルス感染症の陽性になる(+複数人の濃厚接触者)という非常事態になりました。結果、3月4日から予定されていた委員会審査は中止となり、10日に改めて招集となりました。迫る次年度の予算執行に滞りがないよう閉会日は予定通り3月16日に設定し、委員会日程の短縮や、役員改選の事前調整を綿密に行うなど工夫しました。委員会審査について「十分な審査ができないのでは？」といった懸念もありましたが、開始時間を早める・終了予定時間を遅らせるなど理事者側の協力を得て、委員一人当たりの質問時間は変わらず確保しました。(清水の所属していた環境文教委員会では、3名が欠席する日もあり、予定の審議時間は、変更前と比べて約80%の時間でした。)誰が陽性になっても不思議ではない状況であり、非常時の対応の脆弱さが露呈したと感じました。

▶Topic 今定例会中(3月2日)で「オンラインを活用した本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書(案)」が第2会派から提出されました。これは、コロナや大規模災害時にも議決機関として議会機能を確保することを目指し、オンライン本会議を可能にするための法改正を求める意見書でしたが、賛成少数(清水は賛成)で否決となりました。反対された方は「長野県議会としてこの議論を行っていない中で、法改正だけ求めるのは時期尚早」とのこと。これも理解できませんが、清水は、各市町村議会ではタブレットなどの活用が進んでおり、「非常時には本会議でも使えるようにしたい」との声を頂いていたので賛成としました。しかし、事前の調整で否決になることは分かっており、もう少し県議会内で議論をしてからこの意見書を出して欲しかった、というのが本音でした。



■2月定例会での発言等(清水) 一般質問(3/1、一般質問4日目の午後)

1. ICT 教育について

【質問】第6波において、学級閉鎖や学校閉鎖が相次いだが、子どもたちへの学びの保障をするため、ICTは活用されていたか？また、タブレットやPC等の一人一台端末を自宅へ持ち帰っていない学校があると聞かすが、この状況をどう捉えているか？

【回答 原山教育長】本年1月11日から2月16日の土日祝日等を除き、連続5日以上臨時休業や、学年・学級閉鎖をした本県の公立の学校数は、小学校が351校中61校、中学校が183校中15校、高等学校が81校中10校。ICT端末を活用し学習指導を行った学校数は、小学校が61校中49校、中学校が15校中11校、高校では全ての学校。ICTが活用されなかった小中学校は16校。本年1月末の調査では、公立の小中学校において臨時休業時等の端末の持ち帰りの準備が整っている学校は89.6%、実施に向けて準備を進めている学校が10.4%という状況。市町村の状況を把握し、課題を共有して解決策をまだ実施していない市町村に提案した結果、本年度内には、すべての市町村で持ち帰りの準備が整う予定。[3月原山教育長がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。]



2. 新型コロナウイルス感染症について

【質問】第6波において死亡した方のうち、重症化リスクの高いと言われる高齢者及び基礎疾患をもつ方が占める割合は？

【回答 福田健康福祉部長】2月18日までに公表した県内の死亡者のうち、第6波でお亡くなりになった方は37名。そのうち65歳以上の高齢者は35名で割合は95%、また、基礎疾患のある方も35名で95%。亡くなられた方全員が、高齢者又は基礎疾患のある方。

3. ゼロカーボンに向けた企業局の取組について

【質問】2050ゼロカーボンに向けた長野県企業局の取組について改めて伺う。

【回答 小林公営企業管理者】地域とともに「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」に向けて積極的に取り組む。自ら新規電源開発に取り組むのみならず、市町村や土地改良区をはじめ、目的を共有する事業者の皆様と連携・協力して、開発を進めるとともに、県内の様々な主体による新規電源開発を促し、県内のより多くの地域において、再生可能エネルギーの供給拡大が図られるように努める。

4. 障がいのある方の支援について

【質問①】障がい者の文化芸術活動には、知識のあるスタッフ、指導できるスタッフが必要と考えるが、障がい者芸術文化活動支援センターではどのように支援を行うのか？

【回答 福田健康福祉部長】障がい者の個性や能力を理解し、創作活動を適切に後押しする、専門的な知識や能力を持った支援スタッフを福祉現場に増やしていくことが大変重要。センターでは、事業所の職員や教員を対象としたセミナーの開催、支援方法を指導する出前ワークショップ、弁護士を講師とした(作品の販売活動に関する)著作権などの研修会の開催などを通じて、人材の育成に取り組む。

【質問②】障がい者の地域生活を支える体制について、現状と課題、今後の対応は？

【回答 福田健康福祉部長】障がいのある方やその家族の生活を支える「地域生活支援拠点」は、令和2年4月に10圏域でほぼ整備されたが、機能面ではさらに強化すべき点がある。グループホームの更なる整備やアパートへの入居支援、重度障がい者を支える看護職等専門人材の確保、保健・医療・福祉の連携強化などのニーズや課題に応じて、支援拠点の強化を図る。

【質問③】西駒郷の今後について、利用者や家族、地域のニーズを取り入れて検討すべきと考える。今後どのように検討を進め、実現するのか？

【回答 阿部知事】西駒郷の後は、ニーズや要望と利用者の減少を踏まえて施設をコンパクトにしていく。唯一の県立の入所施設としてセーフティネットを補完する施設にしていきたい。次年度からの施設整備に加えて、強度行動障がいの支援に関する相談対応や、民間事業所の人材育成を担う機能についても西駒郷の役割として位置付けた上で、強化を図っていきたい。



■委員会(環境文教委員会所属)での質問



Q. 県立高校再編実施計画検討事業について、上伊那総合技術新校は4市町村に影響のある統合で懸念の声がある。どう進めるか？

A. これからの高校についてご理解頂けるよう、産業界、地域、関係団体の代表者などへ丁寧に説明する。

O. グリーンボンド、本年度も100億円の発行額が即日完売となっているが、資金については、環境部も大いに活用すべき！と要望

●その他の活動について(抜粋)

- [1/22] 信州協同労働ネットワークの設立記念フォーラムをWEBで拝聴
- [1/25] 寝屋川市のいじめ対策について、市長さんよりWEB勉強会
- [2/2,3] 会派で国の予算勉強会 WEB

[2/10] 議会と大学生との意見交換会。

[3/2] 広報委員会で議場説明などの動画撮影



[4月に入り上伊那6町村へ] それぞれの町村長を訪ね、新年度の取組みや課題について伺う
[4/20] 初委員会(3月の議会構成替えて危機管理建設委員会に配属されました)・・・その他にもあちこちの皆さんから様々なお話を頂き、活動させて頂きました。

●次回定例会の日程(予定)

- 6月16日:本会議、開会
- 6月21日~24日:一般質問
- 6月27日~29日:委員会(総務企画警察委員会は30日も)
- 7月1日:本会議、閉会
※土日除く

お知らせ

今年3月に1年分(昨年4月に発行した第8号~今年1月に発効した第11号)をまとめて郵送させて頂きました。活動報告は新聞折り込みを基本に配布していますが、ご住所など頂いている方には、年に一度、まとめて郵送しています。もし、ご希望の方がいらっしゃいましたら下記梓外事務所までご連絡をお願いします。

あとがき

開花から満開までが早かった、と言われる今年の桜ですが、各地で多くの観光客など見物客が訪れているのを目にしました。御柱、御開帳などの行事も、これまで通りとはいかないまでも実施されており、新型コロナウイルス感染症に対する考え方も変わってきたと感じています。とはいえ、まだまだ以前の日常には程遠いのも事実。基本的な感染症対策をそれぞれ徹底し、思いやりの心をもっていきましょう！